

## 平成 20 年度伊勢湾再生に向けた取組状況の報告

## 伊勢湾再生推進会議 ワーキングの開催状況

### 1. 第1回関係機関担当者ワーキング

日時：平成20年6月24日13:30～15:30 於：名古屋合同庁舎2号館 7階共用大会議室

- ・平成20年度伊勢湾再生推進会議の取り組み予定について確認
- ・伊勢湾再生ロゴの使用ルールについて審議決定
- ・伊勢湾再生に向けた啓発資料の使用について説明

### 2. 第2回関係機関担当者ワーキング

日時：平成20年10月31日10:00～12:00 於：名古屋合同庁舎2号館 4階共用大会議室

- ・伊勢湾再生行動計画のフォローアップ

平成19年度の施策進捗状況の取りまとめにおける情報提供等を各機関へ依頼

- ・伊勢湾再生の枠組みイメージについて審議決定
- ・伊勢湾再生WEBの構成について審議決定

### 3. 第3回関係機関担当者ワーキング

日時：平成21年1月26日13:30～15:30 於：愛知県庁三の丸庁舎 8階会議室 801

- ・伊勢湾再生行動計画のフォローアップ

平成19年度の施策進捗状況の取りまとめ結果の確認

平成20年度の取り組みに関する報告資料提出を各機関へ依頼

- ・伊勢湾再生WEBの内容について審議決定
- ・研究者によるコンソーシアムについて事務局から報告
- ・中間評価に向けた指標の整理方針について審議、引き続き調整を続ける

### 4. 第1回モニタリングワーキング

日時：平成21年2月18日10:00～12:15 於：愛知県庁三の丸庁舎 8階会議室 803

- ・伊勢湾再生の海域におけるモニタリング計画について審議決定
- ・伊勢湾再生の陸域におけるモニタリング計画検討方針について審議決定
- ・伊勢湾流域圏一斉モニタリングの実施方針について審議決定

### 5. 第4回関係機関担当者ワーキング

日時：平成21年2月27日10:00～12:15 於：名古屋合同庁舎2号館 4階共用大会議室

- ・中間評価に向けた指標の整理（案）について審議決定
- ・伊勢湾再生WEBの内容について報告
- ・第5回伊勢湾再生推進会議の議事（案）について審議決定、

会議への報告案件の連絡を各機関へ依頼

### 6. 第5回関係機関担当者ワーキング

日時：平成21年3月16日13:30～15:30 於：愛知県庁三の丸庁舎 8階会議室 801

- ・第5回伊勢湾再生推進会議への報告内容について確認

## 伊勢湾再生行動計画の施策実施状況について

表 平成 18 年度及び平成 19 年度の施策実施状況

分類	H 1 8 年度 (計画策定年度)	H 1 9 年度
森の施策	2 0 / 2 3 (87%)	2 3 / 2 3 (100%)
川の施策	6 4 / 6 9 (93%)	6 8 / 6 9 (99%)
海の施策	2 2 / 3 3 (67%)	2 9 / 3 3 (88%)
人の施策	3 5 / 4 9 (71%)	4 7 / 4 9 (96%)
合 計	1 4 1 / 1 7 4 (81%)	1 6 7 / 1 7 4 (96%)

※ 表中の分子の数値 : 当該年度に実施された施策数

表中の分母の数値 : 伊勢湾再生行動計画に位置付けられた施策数

表中 ( ) の数値 : 施策実施率

### ○伊勢湾再生行動計画に位置付けられた施策の実施状況

- ・ 平成 19 年度の施策実施率は平成 18 年度の 81%から 96%に増加  
平成 19 年度は森、川、海、人のいずれの施策も高い実施率
- ・ 平成 19 年度に 3 施策が完了（海の施策:1、人の施策 : 2）、
- ・ 平成 20 年度の主な施策について次項の一覧表に掲載

## 平成 20 年度伊勢湾再生にむけた主な取り組みについて

表 1 平成 20 年度の主な取り組み一覧

機関	場	大分類	中分類	タイトル	作成機関	報告	
国	陸域	陸域汚濁負荷削減に向けた施策	汚水処理事業一下水道事業	「中部地方下水道中期ビジョン」を協働して作成	中部地整 建政部		
			河川・湖沼事業	魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業	中部地整 河川部		
				自然再生(木曾三川河口部)			
	海域	人と海とのふれあいの場の保全・再生・創出	にぎわいのある港湾空間の創出	みなとオアシスの認定	中部地整 港湾空港部		
				運河の魅力再発見プロジェクトの認定			
	森・川・海	森・川・海に共通する施策	流入ごみの削減、浮遊・漂着・海底ごみ、流木等の対策	水質事故への取り組み	水質保全連絡協議会	中部地整 河川部	
				浮遊・漂着・海底ごみ、流木等の対策			海洋環境船「白龍」による浮遊ごみの回収
			流入ごみの削減、浮遊・漂着・海底ごみ、流木等の対策	漂着ごみ分類調査	第四管区 海上保安部		
		伊勢湾再生のためのモニタリング	環境監視及び汚濁機構の解明に寄与する取り組み	衛星画像によるモニタリング	第四管区 海上保安部		
		沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成	広報・啓発	第 3 回海の再生全国会議の開催	安心・安全な海域の創出	中部地整 港湾空港部	○
					安心・安全な海域の創出(救命胴衣着用キャンペーン)	第四管区 海上保安部	
				環境学習等	環境保全思想の普及・啓発	第四管区 海上保安部	
	多様な主体による協働・連携	協働・連携	ふれあいの森制度(小川入、神崎)	中部森林 管理局			
			市民ボランティアによる森林づくり「名古屋シティ・フォレスター事業」				
	岐阜県	陸域	陸域汚濁負荷削減に向けた施策	関連事業	飛騨・美濃じまん農産物育成支援事業	岐阜県 農政部	
				畜産担い手育成総合整備事業			
森・川・海		森・川・海に共通する施策	流入ごみの削減	生活環境美化対策事業の実施	岐阜県 環境生活部		
			沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成	普及・啓発	木の国・山の国県民運動の展開	岐阜県 林政部	○
		環境学習等		カワゲラウォッチング普及事業	岐阜県 環境生活部		
				「田んぼの仲間生息環境保全事業」の実施	岐阜県 農政部		
多様な主体による協働・連携	協働・連携	企業との協働による森づくり推進事業	岐阜県 林政部	○			

機関	場	大分類	中分類	タイトル	作成機関	報告
愛知県	陸域	陸域汚濁負荷削減に向けた施策	水質総量規制	工場・事業場排水規制	愛知県環境部	
			汚水処理事業	「下水道出前講座」の実施	愛知県建設部	
				生活排水対策の普及啓発	愛知県環境部	
			その他関連事業	「環境保全型農業推進事業」の実施	愛知県農林水産部	
	「農地・水・環境保全向上対策(営農活動支援交付金)」の実施					
	海域	水質の改善・生物多様性の向上	水質・底質の改善－干潟・浅場の再生－	「干潟・浅場造成事業」の実施	愛知県農林水産部	○
			水質・底質の改善－貧酸素水塊の発生低減－	三河湾・御津地区覆砂の実施	愛知県建設部	
				三河港 深掘跡の埋め戻しの実施		
		人と海とのふれあいの場の保全・再生・創出	にぎわいのある港湾空間の創出	三河湾 大塚海浜緑地の整備		
			にぎわいのある海岸空間の創出	海岸保全計画に基づく「海岸環境整備事業」の実施	愛知県建設部	
	砂浜の保全・再生	伊良湖港海岸 海岸環境整備事業の実施		○		
	森・川・海	森・川・海に共通する施策	流入ごみの削減、浮遊・漂着・海底ごみ、流木等の対策	漁場クリーンアップ事業	愛知県農林水産部	
伊勢湾再生のためのモニタリング		環境監視及び汚濁機構解明に寄与する取り組み	水循環再生指標モニタリング	愛知県環境部		
沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成		広報・啓発	「あいちの水産企画展」の開催	愛知県農林水産部		
		環境学習等	「あいち環境学習プラザ」等における環境学習の展開	愛知県環境部		
			「水田水質浄化機能評価事業」の実施	愛知県農林水産部		
多様な主体による協働・連携	協働・連携		協働・連携による水循環の再生	愛知県環境部		
			「あいち海上の森保全活用事業」の実施	愛知県農林水産部		
三重県	陸域	陸域汚濁負荷削減に向けた施策	水質総量規制	「第6次水質総量規制」の実施	三重県	
			汚水処理事業	生活排水処理施設の整備推進	環境森林部	
			森林整備事業	森林整備の重点的・計画的な実施		
			その他関連事業	農地・水・環境保全向上対策＜共同活動支援交付金＞	三重県農水商工部	
	「(舞)みえの食・安心安全確立推進事業」の実施	三重県農水商工部				
	海域	水質の改善・生物多様性の向上	水質・底質の改善	閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業	三重県農水商工部	
				藻場・干潟の回復・再生技術開発事業	三重県水産研究所	
				赤潮・底泥対策技術開発事業		

機関	場	大分類	中分類	タイトル	作成機関	報告		
三重県	海域	水質の改善・生物多様性の向上	生物多様性の向上	水産業(ノリ・二枚貝)による水質浄化機能の向上技術開発	三重県水産研究所	○		
		人と海とのふれあいの場の保全・再生・創出	にぎわいのある港湾空間の創出	侵食対策事業	三重県県土整備部			
	森・川・海	森・川・海に共通する施策	流入ごみの削減、浮遊漂着海底ごみ、流木等の対策	海岸美化ボランティア活動推進事業	三重県県土整備部			
					伊勢湾再生のためのモニタリング	環境監視及び汚濁機構解明に寄与する取り組み	伊勢湾底泥における硫酸還元細菌群の動態	三重大学大学院生物資源学研究所
		沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成	広報・啓発 環境学習等	「みえのうみ」環境保全活動支援事業	三重県農水商工部			
				「みえのうみ」環境保全活動支援事業	三重県農水商工部			
				「キッズ ISO14000 プログラム」の連携実施	三重県環境森林部			
		多様な主体による協働・連携	協働・連携	みえ・川の健康診断事業	三重県政策部			
				～想いをかたちに～ 宮川プロジェクト	三重県政策部			
				環境・生態系保全活動支援事業	三重県農水商工部			
				「漁民の森づくり活動推進事業」を展開	三重県環境森林部			
					「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」の実施	三重県環境森林部	○	
		名古屋市長	陸域	陸域汚濁負荷削減に向けた施策	水質総量規制	水質規制指導	名古屋市長環境局	
					汚水処理事業 下水道事業	下水道事業による「水環境向上施策」を実施	名古屋市長上下水道局	
河川・湖沼事業	清流ルネッサンスⅡ				名古屋市長緑政土木局			
森林整備事業	なごや東山の森づくり							
その他関連事業	緑化地域の指定							
森・川・海	伊勢湾再生のためのモニタリング		環境監視及び汚濁機構解明に寄与する取り組み	水質常時監視	名古屋市長環境局			
				湧き水モニタリング				
	沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成		広報・啓発	上下流交流	名古屋市長上下水道局	○		
	多様な主体による協働・連携		協働・連携	堀川市民調査	名古屋市長緑政土木局			
港管理組合	域海		人と海とのふれあいの場の保全・再生・創出	にぎわいのある港湾空間の創出	「港湾環境整備事業」中川運河地区緑地(中川口、昭和橋、堀止)	名古屋港管理組合		
	森・川・海	伊勢湾再生のためのモニタリング	環境監視及び汚濁機構を解明するためのモニタリング	「四日市港定期水質調査」及び「埋立事業に伴う環境監視」	四日市港管理組合			

# 【沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成】 『広報・啓発』

中部地方整備局港湾空港部

## ◆ 第3回海の再生全国会議の開催

1. 目的：「海の再生全国会議」は、「海の再生プロジェクト」として関係省庁、自治体、NPO等により一体となって開催されています。このプロジェクトを全国の閉鎖性海域に展開させるため、普及啓発、情報共有、意見交換を目的として開催されています。
2. 過年度までの取り組み状況
  - ・平成18年度：第1回海の再生全国会議（東京）
  - ・平成19年度：第2回海の再生全国会議（大阪）
3. 今年度の取り組み状況
  - ・開催日時：平成20年11月26日 本会議（名古屋）  
27日 現地視察（蒲郡周辺施設）
4. 取り組み結果・評価
  - ・今回の会議から閉鎖性海域の環境改善に取り組んでいる行政担当者に加え、NPOの方々も一同に会しました。
  - ・東京湾、大阪湾、伊勢湾、広島湾での最新の取組みが紹介され情報の共有、意見の交換が行え、非常に有意義な会議でした。
  - ・2日間の会議にもかかわらず、非常に多くの方が出席されました。
  - ・会議終了後に行ったアンケートから「NPOや市民団体の現場での取組みをもっと紹介してほしい」、「NPOの取組みは面白かった」という意見が多く見受けられました。また、今後のテーマとして最も期待されているものは、「産・官・学・民・NPO・NGOとの協働」ということが分かりました。



写真-1 全国会議



写真-2 現地視察(愛知県水産試験場)

# 【沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成】 『普及・啓発』

岐阜県林政部

## ◆ 木の国・山の国県民運動の展開

1. 目的：森林・林業関係者だけでなく、様々な立場や地域の県民一人ひとりの理解と協力の下、県民協働による森林づくりを図る。

2. 前年度までの実施状況

### 【平成19年度の実施状況】

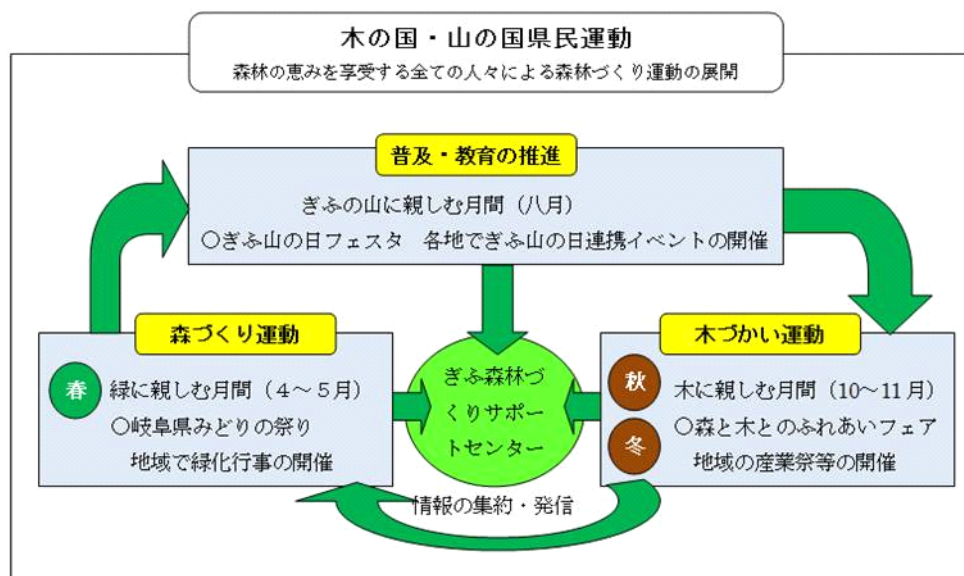
- ・春(4/28)：第37回岐阜県みどりの祭り
- ・夏(8/8)：第2回ぎふ山の日フェスタ
- ・秋(10/27・28)：森と木とのふれあいフェア2007
- ・「森林環境教育の進め方」及び、「森林環境教育・学習教材－森で学ぶ・森を学ぶ－」を作成し、小中学校、高等学校等へ配布

3. 今年度の取り組みの内容

- ・春(5/3)：第38回岐阜県みどりの祭り
- ・夏(8/8)：第3回ぎふ山の日フェスタ
- ・秋(10/25・26)：森と木とのふれあいフェア2008
- ・森林環境教育には子供の頃からの「木育」が重要なことから、木育読本の作成や木育セミナーの開催により、幼児や小学校低学年への木育の普及啓発を実施。

4. 取り組み状況・結果

県民が様々な立場から参加・協力する県民運動を「森づくり運動」、「普及・教育の推進」、「木づかい運動」の3つに分けて、それぞれにテーマをもって継続的な運動を展開。



プロジェクトの概要



# 【多様な主体による協働・連携】

## 『協働・連携』

岐阜県林政部

### ◆ 企業との協働による森林づくり推進事業

1. 目的：森林づくりに意欲を有する企業と整備を必要とする森林・地元とを県が仲介して、企業との協働による円滑な森林づくりを推進する。

2. 前年度までの実施状況

#### 【平成19年度の実施状況】

- ・企業への森づくり説明会（プレゼンテーション）の開催  
平成19年7月24日 名古屋商工会議所 35社 70人  
平成19年8月21日 岐阜県庁大会議室 21社 70人

・森林づくり協定の締結

4箇所：トヨタ紡織グループ「環境の森」加子母、ブラザーの森 郡上、  
(財)田口福寿会 大垣市多良峡、J Tの森 中津川

3. 今年度の取り組みの内容

・森林づくり協定の締結

4箇所：カンチ安食の森、イビデンの森、太平洋里山の森、岐阜造園・水土保持の森みたけ

・協定後の活動状況

平成19、20年度に協定を締結した県内各地の「企業の森」において、社員と家族、地元住民らによる植栽、枝打ちなどの活動を実施

参加者：総計約2,500人

4. 取り組み状況・結果

森林づくり基本条例に基づき策定した森林づくり基本計画に「企業との協働による森林づくりの推進」を位置づけ、健全な森林づくりに取り組んでいる。



協定締結時の様子



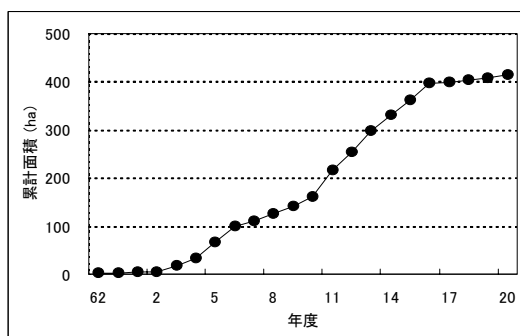
活動の様子(植栽)

# 【水質の改善・生物多様性の向上】 『水質・底質の改善－干潟・浅場の再生－』

愛知県農林水産部

## ◆ 「干潟・浅場造成事業」の実施

1. 目的：水質・底質が悪化している三河湾において、高い水質浄化能力を有する干潟・浅場を再生することにより漁場環境を改善し、漁場生産力の回復を図る。
2. 過年度までの取り組み状況
  - ・ 平成11年度から平成16年度までは中山水道航路整備事業の浚渫砂を活用した大規模な事業が実施され、造成面積は6年間で241.9haとなった。
  - ・ 平成17年度から平成19年度までは三河湾内の浚渫砂を活用し、干潟・浅場の造成を行ったが、造成に適した浚渫砂を大量に確保することは困難であり、造成面積は3年間で12.2haとなった。
3. 今年度の取り組み状況
  - ・ ダム堆積砂の活用  
国土交通省矢作ダム管理所との連携事業により、矢作ダムの堆積砂を活用した干潟・浅場の造成を行った。
  - ・ 河川浚渫砂の活用  
愛知県建設部との連携事業により、河川治水工事で発生する浚渫砂を活用した干潟・浅場の造成を行った。
4. 取り組み結果・評価
  - ・ 事業内容
    - ダム堆積砂の活用  
実施場所：西尾市地先 造成面積：0.25ha 利用土量：3,200?
    - 河川浚渫砂の活用  
実施場所：西尾市地先 造成面積：5.8ha 利用土量：89,000?
  - ・ 評価  
堆積砂或いは浚渫砂の提供を受ける連携事業で造成することにより、これまで工事費の多くを占めていた浚渫工を行わずに、運搬工、造成工、均し工の工程で事業を完了することが可能となるため、事業費の大幅な削減が可能となった。



過年度までの取組状況



ダム堆積砂の海中投入

# 【人と海とのふれあいの場の保全・再生・創出】 『砂浜の保全・再生』

愛知県建設部

## ◆ 伊良湖港海岸 海岸環境整備事業の実施

### 1. 目的：

伊良湖港海岸は渥美半島の先端に位置し、三河湾内における海水浴場として利用されている。この海岸の砂浜侵食対策として、前浜の回復・安定を図るため、離岸堤及び突堤の整備を図る。

### 2. 過年度までの取り組み状況

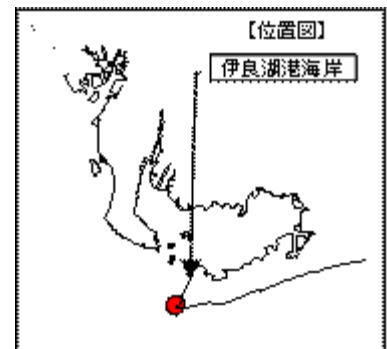
- ・ 事業着手：平成8年度
- ・ 離岸堤：L=130m、平成8～15年度
- ・ 突堤（潜堤）：L=110m、平成14年度～

### 3. 今年度の取り組み状況

- ・ 突堤（潜堤）の残延長L=70mを整備し、完成予定。

### 4. 取り組み結果・評価

・ 離岸堤及び突堤（潜堤）の設置により、堆砂傾向が確実に顕れてきており、海水浴場としての機能が十分発揮できるほどの汀線の前進が認められている。



図：位置図



写真：砂浜利用状況



写真：平成11年状況



写真：平成19年状況

# 【水質の改善・生物多様性の向上】

## 『生物多様性の向上』

三重県水産研究所

### ◆ 水産業（ノリ・二枚貝）による水質浄化機能の向上技術開発

1. 目的：伊勢湾などの閉鎖性海域に流入した栄養塩類の除去に貢献するため、クロノリの品種改良や養殖不能ノリ網の再生技術およびアサリ等二枚貝類の斃死防止技術の開発に取り組み、二枚貝類・ノリの漁獲による水質浄化機能の向上に貢献する。
2. 過年度までの取り組み状況
  - ・ 高水温下でも生育する黒ノリの品種改良に取り組んだ。昨年度は養殖期の伊勢湾で赤潮が頻発したため、高水温下で試験は実施できなかった。しかし、通常の水温下では高水温耐性候補株は在来品種と比較して遜色なく生長した。
  - ・ 芽落ちしたノリ網の再生技術開発では、黒ノリの幼葉に高塩分処理を行うことで多数の単孢子を得ることができ、再生技術確立への第一歩を踏み出すことができた。
  - ・ 二枚貝類の斃死防止技術開発の一環として、木曾三川の貝類漁場で自動観測装置による水質の連続観測を行った結果、貝類斃死の前後に3日間程度の酸素欠乏が起こっていることが確認された。また、漁場での酸素欠乏は、水温が20℃以上に上昇する夏季から秋季の小潮時に限定して発生し、沖合側よりも河口部において顕著であることが確認された。
3. 今年度の取り組み状況
  - ・ 黒ノリ高水温耐性候補株の野外養殖試験を今一色漁場で実施した。
  - ・ 高塩分処理による単孢子誘導に加え、酵素処理による採苗技術の開発を行った。
  - ・ 桑名・松阪沖の水質を観測しweb公開し、アサリの貧酸素耐性を水槽実験で調べた。
4. 取り組み結果・評価
  - ・ 高水温耐性候補株は基準品種に比べ生理障害が少なく生長も良好で、品種改良の効果が示唆された。また、高塩分処理による単孢子誘導に加え、低濃度の酵素処理内培養方法によっても同程度の採苗が行え、芽落ち不良網の再生技術の基礎ができた。
  - ・ 桑名漁場では秋季の小潮時に溶存酸素が低下し、連続3日程度1mg/Lを下回ることで、アサリは、0.5mg/L程度の溶存酸素があれば5日間程度は生存するが、硫化水素を添加すると3日で斃死すること等、二枚貝類の斃死防止技術の開発に必要な基礎的知見が収集できた。



図 高水温耐性株の野外養殖試験結果

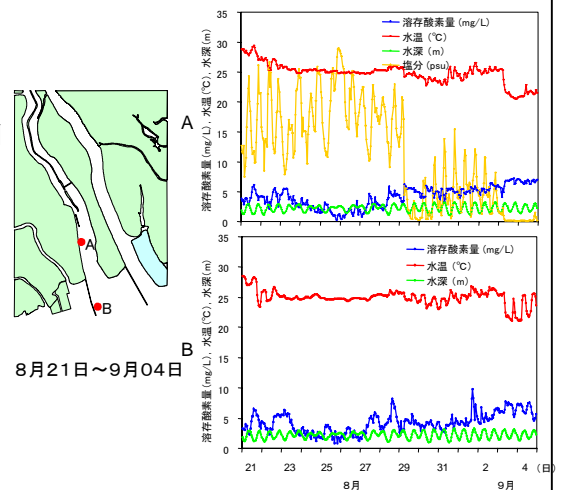


図 桑名地区の水質測定結果

# 【多様な主体による協働・連携】

## 『協働・連携』

三重県環境森林部

### ◆ 「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」の実施

1. 目的：伊勢湾流域では、ボランティアの皆さん、企業、市町等の参加により、森林、河川、海岸、地域等で、日々さまざまな清掃活動が行われているが、それぞれの活動が、森から川、海へのつながりを意識し、互いに連携した活動となることが重要である。

このため、伊勢湾再生に向けて、広域的な交流の促進、情報の共有化を目指し、共通のキャッチフレーズのもと、森林、河川、海岸、地域が一体となって清掃活動を実施することを目的とする。

2. 前年度までの取り組み状況

- ・ なし

3. 今年度の取り組み状況

- ・ 主に、6月から7月を一斉清掃活動月間として、情報の共有化をはかり、各地で行われる清掃活動等について、「伊勢湾再生に向けた取組」として、多くの皆さんに参加いただけるように、実施主体、内容、日時、場所等の情報を整理したリーフレットを作成。
- ・ リーフレットの市町への配布やホームページ等による情報の提供・周知をはかった。



津市阿漕浦でのクリーンアップの様子

4. 取り組み結果・評価

- ・ 三県一市の各地において、23団体、延べ10,092名以上の参加をいただき、清掃活動等が行われた。
- ・ 参加団体を中心とした交流会を開催し、情報の共有化やネットワーク化をはかった。
- ・ 今後は、さらに国や三県一市が連携した継続的な取組として、伊勢湾流域圏の皆さんの多数の参加をめざす。



No.	実施主体	実施日時	実施場所	実施内容	参加人数	備考
1	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
2	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
3	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
4	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
5	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
6	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
7	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
8	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
9	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
10	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
11	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
12	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
13	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
14	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
15	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
16	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
17	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
18	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
19	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
20	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
21	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
22	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	
23	伊勢湾環境協会	6月1日	津市阿漕浦	海岸清掃	100名	

「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」リーフレット

# 【沿岸域および流域の人々の海への関心の醸成】 『広報・啓発』

名古屋市上下水道局

## ◆ 上下流交流

### 1. 目的：

木曾三川流域の水環境を守るため、水源地から伊勢湾におよぶ流域全体のそれぞれの地域が交流し、市民レベルのパートナーシップを構築する。

### 2. 過年度までの取り組み状況

「エコ市」、「木曾川さんありがとう」、「水源林保全体験研修」などをはじめ、さまざまなイベントを実施し、上下流域の人々が交流を行っている。

### 3. 今年度の取り組み状況

- ・ 過年度までの取組みを継続して実施
- ・ 木曾三川水源林保全体験
- ・ 木曾三川上下流交流公開座談会 ほか

### 4. 取り組み結果・評価

- ・ 木曾川さんありがとう（継続事業）  
名古屋市民が長野県木祖村を訪れ、ドングリの植樹や味噌川ダムの見学を通し、水源地と交流し、水源涵養意識の高揚をはかる。交流を通して、参加者のみなさまには、水源の大切さを実感していただくことができた。
- ・ 木曾三川水源林保全体験（20年度新規事業）  
名古屋市民が、木曾三川の山林（水源林）での間伐作業等の体験を通して、“名水”を育てている水源林の保全・整備の大切さを理解することができた。
- ・ 木曾三川上下流交流公開座談会  
パネリストとして松永市長（海津市）、野村市長（下呂市）、宗宮町長（揖斐川町）、栗屋村長（木祖村）、山田副市長（名古屋市）を招いて、「交流が連携・協働へと発展するためには何が必要か」、「成長のための新しい基盤づくりには何が必要か」、といったことをテーマに活発な意見交換が行われた。



写真：木曾川さんありがとうの様子



写真：木曾三川上下流交流公開座談会の様子